


コロナ禍での子どもの貧困解決に向けたSDGsアクションの推進（子ども食堂 x フードロス対策）

取組開始時期	6月	取組の カテゴリー	児童福祉	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
--------	----	--------------	------	-----------------	--	-----------	---	------

1. 団体名	神奈川県	2. 連携先の 団体	公益社団法人フードバンクかながわ、地域の子ども食堂、かながわSDGsパートナー企業・団体					
--------	------	---------------	--	--	--	--	--	--

3. 取組目的	コロナ禍で一層深刻化する社会的課題の一つである「子どもの貧困」の解決を図るため、SDGsを道しるべに、「食」の支援を通じて、多様な主体の関心、参画を促すことで、「共助」の取組を広げる。	4. 関連する ゴール						
---------	--	----------------	---	--	--	--	--	--

### 5. 取組経緯

コロナ禍の影響は、子どもや女性など社会的立場の弱い人たちほど大きく、SDGsに取り組む重要性が再認識された。  
また、社会的課題の解決には、行政による公的支援のみならず、SDGsを道しるべに、民間の力を結集し、より多くのステークホルダーが連携して、取組を広げる仕組みを構築することが必要。

### 6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

「子どもの貧困」対策として、子ども食堂等への支援の呼びかけ等を実施、併せてSDGsアクションとしてのフードドライブ活動を、10月の食品ロス削減月間に、県内企業等に働きかけ全県的な取組みとして実施。

画像（会員投票の際のサムネイル）



### 取組のポイント（3つの視点）

#### 地方創生SDGsの視点

食品ロス削減と子どもの貧困という異なる課題を掛け合わせて示すことがSDGsならではの解決策と認識している。特に、フードドライブは、食品を通じて、人と人とがつながる活動であり、地域における支えあいを形にすることができる。

#### ステークホルダーとの連携

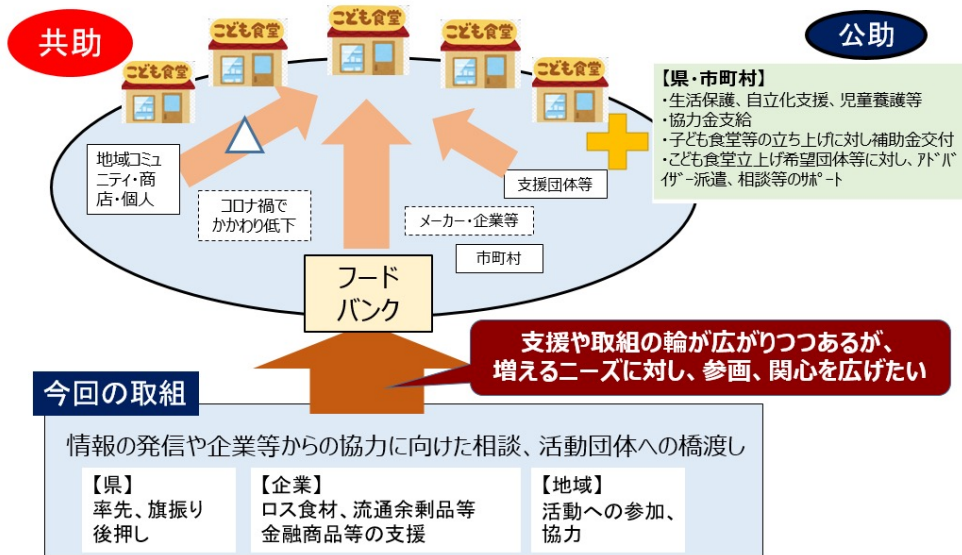
フードバンクや子ども食堂など、現場で動いている方の声を、県のネットワークを通じて広く県内企業・団体の方に伝え、両者の活動を繋げた。また、フードドライブの活動を通じ、SDGsの自分事化、活動を契機とした行動変容などが進み、社会的課題を解決するためにSDGsアクションを起こす機運が県内に広まっている。

#### モデル性・波及性

フードドライブの活動自体は誰でも手軽に取り組めるものであり、全国の自治体、企業（支社）でも同様の取組が可能。今回神奈川県で作成した、フードドライブマニュアルやロゴマークも、使用を神奈川県内に限ったものではないため、他地域で行うときも活用して頂きたい。

## 7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

### 1 「共助」を通じた食の支援



### 2 神奈川県取組

「子どもの貧困」対策として、子ども食堂やフードバンク活動の認知拡大、支援の呼びかけ等を実施。

【SDGsアクションサポートミーティング】（7/29）  
 フードバンクや子ども食堂の関係者から、県内企業・団体へ活動の実態等を説明。87名が参加。

【子ども食堂等へのサポート相談を受付中】  
 ・ フードバンクに対し、スーパーで発生した余剰商品を提供したい。  
 ・ 空調や電気設備での困りごとにお役に立ちたい。

【県庁フードドライブ活動】（8/24-9/3）  
 SDGsの具体的なアクションとして、神奈川県庁でもフードドライブを実施。  
 結果：1,094品、416kg

【県内におけるフードドライブ実施キャンペーン】  
 食品ロス削減月間である10月に全県的な取組みとして、かながわSDGsパートナー、県内市町村にフードドライブ活動の実施を呼びかけ。

- ◆ 企業・団体のフードドライブ実施手引きの作成
- ◆ フードドライブを始めるための説明会（9/27開催）
- ◆ 著名人（オリンピック選手、元サッカー選手）からのメッセージ動画の配信
- ◆ フードドライブロゴの作成



フードドライブロゴ

フードバンク実施企業は神奈川県ホームページに掲載し、全県的な展開に向けた機運を醸成（10/27 42企業掲載）



ソフトボール金メダリスト 山田選手からのメッセージ動画

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs-fooddrive.html>

#### 【フードドライブ実施企業の声】

・実施した本部では、社内共通の話題にもなっており、これをきっかけに社会貢献の意識が強くなればと思っています。  
 ・県の旗振りで、社内にも声をかけやすかった。本社とは違う部分でSDGsの取組みを社員が実践できた。  
 ・会社に於ける戴き物や災害用ストック品の見直しにも役立つので、定期的に実施した方が良いのではないかと、実感している。

#### 【食品を受け取った方からの声】

・運動会の時にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。  
 ・ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふつらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。  
 ・食べものがあることは安心して暮らせる力になっています。  
 ・中学生の子どもに、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。